



のこ 星たちが残したもの

宇宙に輝く星たち、いつまでも同じところで輝き続けるのでしょうか。星たちも誕生し、成長して、そして終わりをむかえます。星の一生の長さは星の重さによって決まります。重い星ほど寿命が短く、軽い星ほど長くなります。寿命は短い星でも 1000 万年位、長いものでは数兆年におよびます。太陽の寿命は 100 億年位です。いずれにしても人間の寿命とくらべると永遠に思われるくらい長いですね。

さてこの星たち、最期をむかえたあとはどうなるのでしょうか。

太陽の 8 倍位より重い星は「超新星爆発」という大爆発

をおこして最期をむかえます。そして星を作っていた物質を宇宙にまき散らし、宇宙空間に広



はくちょう座にある「超新星残骸」NGC6992. 網状星雲ともよばれています。はくちょうの東側のつばさ近くにあります。(撮影: 足田 純之)

がってゆきます。上の写真は広がった宇宙のガスが爆発のエネルギーにより光を出しているもので、「超新星残骸」といいます。

太陽程度の星は、少しずつ縮んでゆっくりとガスを周りにはき出し、「惑星状星雲」となって最期をむかえます。

左の写真は、こと座にある「惑星状星雲」の写真です。周りにはき出されたガスは、中心にある星からのエネルギーを受けて光を出します。まるで、指輪のように見えま



こと座にある「惑星状星雲」M57. 環状星雲ともよばれています。中心にある星のエネルギーを受けて光っています。(撮影: 足田 純之)

すね。(解説員: 足田 純之)